since 1982

長崎寄席だより vol.232

二人会

2023 1月28日(土)

開場 17:00 開演 18:00

会場／ひびきホールまいばすけっと3F

［当日プログラム］

一、落語 桂 空治
二、落語 柳家 燕弥
三、落語 柳家 小八
仲入り
三、パントマイム 山本 光洋
四、落語 柳家 小八
五、落語 柳家 燕弥

ホール

当日一般：3,000円
前売り・予約：2,700円
会員同伴（1名様のみ）：2,500円
常連会員：1,500円
中・高校生：1,000円
小学生：500円

ご予約方法

●インターネット
https://nagasakiyose.jimdofree.com/
上記から「お問い合せ」をクリック。
もしくは右記のQRからアクセスしてください。

●電話
☎080-3386-2952 長崎寄席世話人会（藤井）

©伊藤雅章

落語 柳家燕弥

Profile

やなぎや・えんや

1977年岐阜県岐阜市出身。愛知大学在学中から落語研究会に所属し、2000年に三代目・柳家権太楼に弟子入り。

前座名は柳家さん太。2004年、柳家さん弥、柳家初花、林家ほや平とともに二ツ目に昇進し、柳家右太楼と改名する。2015年に真打ち昇進し、「燕弥」を襲名。このときは、三遊亭司、柳家小傳次、四代目・桂右女助、柳家海舟、四代目・入船亭扇蔵、二代目・金原亭馬治、二代目・金原亭馬玉、三代目・柳家さん助、柳家燕弥、三遊亭彩大と大人数同時の真打ち昇進だった。

板橋区文化・国際交流財団公式チャンネルの「板橋落語会」では現在「大工調べ(115回)」「馬のす(114回)」「看板のピン(113回)」「小言念仏(112回)」「猫と金魚(111回)」「紙入れ(110回)」が公開されている。

落語 柳家小八

Profile

やなぎや・こはち

1977年広島県出身。大学を卒業後1年半以上、就職せずにアルバイトをしながら柳家喜多八に弟子入りを嘆願しつづける。ようやく認められ、2003年2月に入門、4月に前座になる。

前座名は「小たま」。弟子入り後は住み込みではなく、何か用事があるときに電話で呼び出されたので「落語家初の通信制弟子」と話すことがある。2006年5月、二つ目に昇進。「ろべえ」に改名。この名前は東海道中膝栗毛の弥次郎兵衛・喜多八にちなみ、弥次郎兵衛(やじろべえ)の「ろべえ」からつけられた。

2016年5月、師匠喜多八が死去。大師匠である10代目・柳家小三治門下となる。2017年3月、真打に昇進。同時に喜多八の前名である「小八」に改名した。

パントマイム 山本光洋

Profile

やまもと・こうよう

パントマイムを基軸にシャープな視点で独自の世界観を作り上げている。表現力は、大道芸やオペラ、演劇、ダンス、伝統芸能と共演することで培ってきた。すべての人が一緒に楽しめるパフォーマンスを心がけている。

高校時代は落語研究会、大学時代は演劇に関わり、卒業後、ニューヨークでパントマイムの基礎を学ぶ。大道芸ワールドカップ in 静岡をはじめ、「大須大道町人祭」、「横浜大道芸フェスティバル」ほか全国で出演多数。また、〝チャーリー山本〟として「笑点」、NHK「今夜も生でさだまさし」にも出演した。子どもから大人まで一緒に楽しめるパントマイムの小作品集「KOYOマイムライブ」のなど公演も多数。2021年3月「第20回アシテジ世界大会国際子どもと舞台芸術・未来フェスティバル」で国内招待作品として選ばれた。

みんなのつぶやき… 長崎寄席雑記

長崎寄席物語

【その5 源氏太郎さん
柳家権太楼師匠
ショパン猪狩さん】

長崎寄席 世話人 柴田 紀和夫

❶源氏太郎さん

私と一緒に長崎寄席を立ち上げた盟友ですが、その芸は両耳につらしたハーモニカをくわえ、ギターを抱え、足でカスタネットをたたき、肩に棒を立て、その上に皿を乗せ、皿を回しながら演奏をする、というなんとも慌ただしいものです。ただ、一度見たらそう何回も見たいものではなく、お客様が忘れた頃を見計らって出てもらっていました。

何年か前、源氏さんからSOSの電話入りました。自転車で哲学堂に行き、転んで大怪我し、今は池袋の原整形外科に入院しているというのです。奥さんにはずいぶん前に先立たれ、娘さんは四国に嫁いだので源氏さんは一人暮らしでした。下着類や靴下を数枚ずつ、パジャマ、食糧品も買いこんで病院に駆けつけました。その後も1週間ごとに必要なものを届けに行きました。怪我が直ったあと、長崎寄席に出てもらったら、芸を披露した最後に舞台上で「柴田さんありがとう!あなたは神様です!」と言われ、大いに面食らいました。その舞台が源氏さんの長崎寄席では最後となりました。

❷柳家権太楼師匠

権太楼師匠に初めて長崎寄席に出てもらったのは1989年3月。昭和の終わり、平成の始まりの年です。会場ホールが建て直しになり、こけら落としの公演に権太楼師匠を呼んでいましたが、直前に昭和天皇が亡くなり、世の中は自粛ムード一色。歌舞音曲も中止、寄席の興業も中止と、世の中の火が消えたようになっていました。とはいえ、長崎寄席はどうしても予定通り開催したいと思っていました。師匠にお伺いをしたところ、「自粛なんかするものではありません。ぜひ出演させてください。」との力強い言葉をいただき、無事開催することができました。それからは年に1回か2年に1回位のペースで出てもらっています。

今や落語界の最高峰の名人です。それでも若い頃はやんちゃな部分がありました。昭和の頃、NHKラジオ「土曜サロン 広瀬久美子のラジオワイド」という広瀬久美子アナウンサーと権太楼師匠との掛け合いの番組がありました。確か土曜の午後だったと思います。聴取者からの「笑点の大喜利で、みんなよどみなく答えが出ていますが、事前に打合せなどあるのでしょうか?」という質問に、権太楼師匠は「もちろん作者がおり、事前に仕込んでおくのです。プロレスと同じ暗黙の了解です」と答えました。そうしたら、翌週番組に、桂歌丸師匠からきつい抗議の電話がありました。それからは権太楼師匠は一切笑点からお呼びがかからなくなったそうです。

❸ショパン猪狩さん

東京コミックショーという芸名で「レッドスネイクカモン!」でお馴染みでした。千恵子夫人と二人三脚の芸でした。奥さんが穴のあいたテーブルの中に入ります。もちろんカバーがかかっていて外からは見えません。中から三匹のおもちゃの蛇を出したり引っ込めたり、それを猪狩さ

んがたたきながらのコント。非常にばかばかしい芸ですが、何度みても笑ってしまうという本物のプロの芸です。

長崎寄席には1992年9月に出てもらいました。電話で出演交渉をしたら、猪狩さんが自宅に来いというのです。世話人の松尾くんと行き、うな重をご馳走になり、出演も快諾をいただきました。

当日、猪狩さんはアラジンの魔法使いのような衣装で登場しました。「この前、世話人2人にうな重をご馳走したのに、長崎寄席では弁当も出ない。実にけちな団体だ。代表の柴田が悪い」などいいながら、見事な芸で場内を魅了させました。昭和の薫りが残る、本物のプロでした。

【芸人交遊録／第4回目】
中島 弘幸

長崎寄席 世話人 石田 隆則

わたしが初めて中島くんを見たのがいつだったか定かではありませんが、動きに無駄がなく、所作が美しい、そしてとても丁寧な手品だと感じたことを覚えています。フジテレビの人気クイズ番組『なるほど！ザ・ワールド』に白塗りで言葉を話さないマジシャン・トランプマン2号として出演していたことを後から知り、なるほどと納得しました。腕は間違いないので長崎寄席に出演してもらおうと交渉し、今では3回も出演してもらっています。

あるとき、「船に乗りませんか」と中島くんから電話がありました。詳しく聞くと、旅行会社のHISがチャーターしたイタリア船・ビクトリア号に乗って、韓国釜山4泊5日のクルーズ旅行とのこと。中島くんは仕事として船の劇場に出演するので一緒に行きませんかとの誘いでした。さらに、中島くんの友人で「彼に誘われた」というと、料金がいくらか安くなるというのです。あのケチなHISが、と思いましたが、HIS浦和営業所へ行ってみました。カウンターの女性に内容を話してみたところ、とても怪訝な顔で、なかなか信用してくれません。確認のため、本社のクルーズ部へ電話をしてもらいました。そうしたら、なんと本当だったのです。それもかなりな額が割引になりました。だったら乗るしかないでしょう。思い切って行くことにしました。ただし、HISからは「今回限りです」と何度も念を押されました。

船の劇場では1日に2回の公演があります。乗客の半分の人が食事をしているときに、残った人が公演を楽しむため満員になることはまずありません。ところが、劇場の入口に「トランプマン2号、素顔で登場！」と張り紙をしたものだから、食事をしていない人のほとんど全員が劇場に押し寄せ、それこそ船が傾くんじゃないかと思われるほどの大騒ぎになってしまいました。船の劇場としては珍しい立ち見の客も出るほどでした。

公演のない日は暇なので、目の前でトランプマジックを見せてくれることになりました。船室でやるのもなんだし、一番いいのはデッキだけれど人が集まっても困るので、バーでやることになりました。昼とはいえバーなので、当然飲むことになり、呑兵衛の中島くんに随分と飲まれてしまいました。HISでまけてもらった分くらいは飲まれてしまいました。

わたしは酒で失敗した芸人を何人も見てきました。中島くんも気をつけてください。

今後の長崎寄席

長崎寄席 世話人代表 藤井 岳美

寄席だより最終ページの告知でもご案内のとおり、第234回長崎寄席『春風亭一之輔独演会』は3月18日(土)となります。通常の長崎寄席は月末土曜日の日程ですが、変則的な日程となっております。ご注意ください。

現在大人気の春風亭一之輔師匠ご出演となるこの会につきましては、1月28日(土)の第233回長崎寄席『柳家燕弥・柳家小八二人会』にてご来場のお客さまのみの先行予約の受付を開始し、一般予約の受付は1月30日(月)から開始とさせていただきます。長崎寄席としては異例ですが、何卒ご理解賜りますことよろしくお願いいたします。

第235回は日程も通常通り、5月最終土曜日の5月27日(土)となります。ご出演は、前回出演いただきました林家まめ平さんと、長崎寄席にゆかりのある柳家かゑるさん。両人とも来年9月に真打昇進となる前途有望な二ツ目です。真打昇進直前の高座をぜひご期待ください。

藤井光学は、各種高性能光学系の設計開発および試作から量産まで、
多用なご要望にお応えできる光学設計・製造のプロフェッショナル集団です。

FUJII OPTICAL
藤井光学株式会社
FUJII OPTICAL CO.,LTD.
Designer、Manufacturer of Optical Systems & Lenses

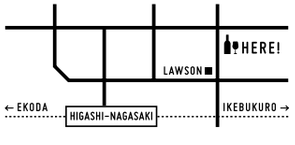
〒171-0052 豊島区南長崎5-9-11☎03-5996-7661

各病・医院処方箋調剤

漢方相談／東京中医学研究会々員
薬剤師・広田 悦造
(有)ホーム薬局

東京都豊島区南長崎5-10-10
☎03-3951-2869FAX 03-3952-2823

寄席のあと、ちょっと一杯どうですか？
BAR
PUNYPONY
バープニポニ



●月曜日-土曜日
●20:00-26:00
※月曜日は隔週で休みです。
171-0051
豊島区長崎4-13-7

前回の長崎寄席

林家正蔵 独演会

［第232回 長崎寄席］
2022年11月26日（土）

一、禁酒番屋　林家まめ平
一、おすわどん　林家正蔵
一、マジック　沙門雲
一、鹿政談　林家正蔵

世話人だより

■寒さとともに降り出した雨は、開場前には止んでくれました。寒さに負けずご来場いただいき、ありがとうございます。

■本日は林家正蔵独演会。その前座を務めるのは、令和5年秋に真打昇進を控えるまめ平さん。寄席で使われる小道具の解説からはじまり、「落語に必要なのは、観る側の想像力」と訴えます。様々な仕草でそれぞれ異なる描写をする様を見せてくれつつ、「酒は百薬の長、されど命を削る鉋」との口上から始まったのは「禁酒番屋」。殿様の鶴の一声で始められた藩内禁酒令。それを取り締まる禁酒番屋の設立。酒が好きで好きで堪らない藩士近藤さんの悲哀と無茶振りを受け、なんとか藩内に酒を運び込もうと苦心する酒屋の面々。持ち込まれた水カステラや油に対し「改め申す」を建前に酒を口にし、徐々に酔い崩れていく番屋の愉快な姿は酒屋の仕返しによる因果応報を迎え、そのおかしなやり取りが目に浮かぶ様な仕草をみせてくれました。

■林家正蔵師匠は、本日長崎寄席に初出演。駅から会場に到るまでの告知ポスターに喜びをみせてくれました。ポスター展示に協力いただいた皆様、ありがとうございました。話のマクラで語られた権太郎師匠との膝痛のやり取りは、観客の多くの人たちにも心当たりがありそうで。そうして始まったのは「おすわどん」。上州屋徳三郎と奥方お染の仲睦まじさ、病床に伏し先がない事を感じながらもなお相手を想うお染の優しさ。怪談の様相を呈してきても不穏さを感じさせぬ柔らかい語り口は、真相を探る用心棒の浪人と蕎麦屋の語る真相から事の決着までを朗らかに演じられました。

■仲入りでは長崎寄席恒例の福引。今回も多くの方が景品を手にされました。当選された皆様、おめでとうございます。また、福引の景品は常時募集中です。

■仲入りと休憩が明けて、舞台に颯爽と登場したのはマジシャンの沙門雲さん。舞台上で作ったシャボン玉が実体化する幻想的な場面で休憩明けの客席を引き締め、ハンカチとリングを用いたマジックで我々を魅了します。ハンカチの入れ替わりマジックを「ぜひ覚えて家でもやってみてください」と言われるも、マジックの説明の度に異なる変化を見せ、覚えて持ち帰るどころではありません。客席の一人を助手に迎えて物体浮遊マジックを見せたあとは、「世界唯一のお米マジシャン」の肩書通り、ドンブリいっぱいに注いだお米が、蓋をして振る間に増えたり減ったり入れ替わったり。果てにはお米を水に変える鮮やかな手並みで、多くの拍手と共に退場されました。

■正蔵師匠の独演会もいよいよ最後の一席。携帯電話をらくらくスマホに買い替えたら、手元にいろいろなニュースが届くようになった。そんなニュースの一つ「三大東京土産」に困惑した、といった近況話から始まった本日のトリは「鹿政談」。奈良の名物は「大仏に、鹿の巻き筆、あられ酒、春日灯篭、町の早起き」と呼ばれるそうです。奈良の春日大社の御使である鹿の飼料がなんと三千石。春日大社の御使である故に、当時鹿を殺すことは故意でなくともご法度。だから、奈良の人たちは朝は早起きして鹿が家の前で倒れていないか確認していたとか。そこから語られるのは、正直者で有名な豆腐屋与兵衛さんと鹿を巡るひと悶着。困惑する鹿の守役を尻目に奉行の名裁きの披露と共に会場は大喝采。その後、「長崎寄席のこれまでのネタ帳を見、歴代の出演者に敬意を払い、「鹿政談」を掛けた」とこの噺を選ぶに至った経緯を語っていただきました。温かさと気品ある所作を見せ続けた正蔵師匠の挨拶とともに、本日も終演となりました。

電子部品製造
ムサシ電子株式会社
確かな技術で
高い信頼をお届けします
豊島区千早3-12-3
☎03-3959-3351FAX 03-3959-4990

鮎沢歯科医院
☎03-3565-0118
豊島区南長崎5-14-2
バス停前

地域密着の不動産業者
足立土地住宅社
東長崎駅・椎名町駅周辺の
マンション・アパート・駐車場等の
管理、仲介を行っています。
豊島区南長崎5-20-16
☎03-3951-3665FAX 03-3954-2325

住宅建築設計施工／一級建築士事務所
株式会社
岩井工務店
町の工務店です。
住宅の新築・リフォームを主に行っています。
豊島区長崎4丁目17-5
ライオンズマンション東長崎108号
☎03-3957-1456FAX 03-3957-1459

Webもチェック!
<<< 長崎寄席Webサイト
長崎寄席twitter >>>

福祉に関することでお困りの時は何でもお気軽に
みんなで支え合う暮らし・みんなの街
地域福祉研究会
ゆきわりそう
〒171-0052 東京都豊島区南長崎5-21-7
☎03-3565-3859

せき・こえ・のどに「浅田飴」
【効能・効果】せき、たん、のどの炎症による声がれ・のどのあれ・のどの不快感・のどの痛み・のどのはれ
4種類の生薬（キキョウ、トコン、マオウ、ニンジン）がせき、たん、のどの諸症状に効果を発揮します
cool　nikki　passion
浅田飴 クールs/ニッキs/パッションs
第2類医薬品
これらの医薬品は、薬剤師、登録販売者に相談のうえ、「使用上の注意」をよく読んでお使いください。
https://www.asadaame.co.jp/　〒171-0052　東京都豊島区南長崎 3-1-5

優良菓子卸
柴田商店
小売も始めました
○ 菓子袋詰め、進物
○ 紀州梅干
豊島区南長崎5-3-13
☎03-3951-5933
FAX 03-3951-5483

次回告知
第234回 長崎寄席
春風亭一之輔独演会
花島久美（マジック）
2023 3月18日（土）
開場／17:00開演／18:00
会場／ひびきホール
まいばすけっと3F
・西武池袋線東長崎駅から徒歩4分
・都営大江戸線落合南長崎駅から徒歩8分
当日一般：3,000円
前売り・予約：2,700円
常連会員：1,500円
会員同伴（1名様のみ）：2,500円
中・高校生：1,000円
小学生：500円
ご予約方法
●インターネット
https://nagasakiyose.jimdofree.com/
上記から「お問い合せ」をクリック。もしくは右記のQRからアクセスしてください。
●電話
☎080-3386-2952
長崎寄席世話人会（藤井）